

1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2894700018		
法人名	(有)富士建設		
事業所名	グループホームありがとう		
所在地	兵庫県美方郡新温泉町七釜329-1		
自己評価作成日	H27.12.2	評価結果市町村受理日	2016年 2月 26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.hyogo-kai.go.com/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104
訪問調査日	2015年 12月 23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今年の11月で開設丸5年を迎えました開設当時から入居いただいているご利用者様からは“かゆいところに手が届くケアをしてもらって有難い”とおっしゃっていただいていた喜んでいただいていることを実感し、やりがいを持ってケアをして頂いているのではないかと考えています。皆様認知症を患っておられるも日々楽しく穏やかな生活を送って頂ける為にスタッフ一同千重と趣向を凝らして生活のサポートさせて頂くよう努力しております。

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

日本海にほど近い山間部にある温泉の町である。冬の間は外に出ることが減ってしまい、利用者は事業所の温泉で温まり、室内でレクリエーションを楽しみ、普段の暮らしの中でリハビリに励んでいる。中には、自ら歩行訓練に勤しみ、周りの応援を得ながら頑張っている人など、事業所は避けられない筋力低下に少しでも足を動かす体操を身近に取り入れている。日中の大半を過ごすリビングでは、気の合う者通しが気軽におしゃべりしたり、ソファで一人くつろいだり、時には感情が露わになることもあるが、ありのままの利用者の表情や姿はのびのびとしている。重度化からくる心身の低下により、事業所での生活が困難になってもできるだけここでの生活を維持できるよう、職員の熱い思いと創意工夫で乗り越えている。今後も理念の実現に向け、着実な歩みを期待したい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員と共に理念を共有し日々実践につなげている。	法人の運営理念を原点として、職員としての基本姿勢を掲げ、日々実践に活かすよう努めている。事業所での生活が長くなるにつれ、家族のように安心できる暮らしの継続を目指している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	参加可能な行事には出席して地域の一員として交流させて頂いています。	今年度、民生委員の働きかけにより、手書きのイベント案のちらしを配布した。地域のまつりへの参加や高校生、中学生による夏休みボランティアを受け入れる機会を得ることができ、交流につながった。徐々に地域との関わりが増えてきている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所として地域の方たちへの理解や支援の方法といったことへのアプローチはできていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議において頂いた意見等を現場で実際に実行してサービスの向上に努めております。	民生委員から地域情報とともに、地元の高齢者やその家族の状況が報告され、活発な意見交換となった。地域包括からも地域交流につながるアドバイス等を得ることができ反映している。現在、家族の参加は得られていない。	年に1～2回でも家族が参加できるよう、日程調整等を検討されてはいいかがか。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要に応じ相談等させて頂き細かい事務連絡をいただいてケアサービスの向上に活かさせて頂いています。	地域包括からは、運営推進会議やそれ以外でも情報提供がある。町担当者とは、必要に応じて利用者個別の状況を相談するなど助言を得ることも多く、協力関係を築くよう努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいます	今年度 特にまとまった研修は行っていないが、会議等や申し送り時に、利用者個々のケアを通じて意識統一を図っている。毎日散歩を日課としている人がいるが、職員が付き添っている。やむをえず、玄関の施錠をすることもある。	身体拘束や虐待防止等については、会議の時間を利用するなど、年に1回でも学ぶ時間を設けていただきたい。
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	努めています	上記と同様、研修としては行っていない。日々、抑制にならないよう利用者への言葉かけや接し方について、その人に応じた対応を心がけている。時に気になる場合は、管理者がその都度注意しているが、十分とはいえない。	

自己	者 第三	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度等を職員全体が把握理解するまでには至っておりません	資料等は、玄関に置くなど家族や来訪者にわかるように用意している。職員には、会議等で資料をもとに説明し、理解に努めている。現在、活用している利用者はいないが、今後事例があれば、活かした研修をしたいと考えている。	
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は一応の説明はさせて頂き疑問又は納得いかない点につきましては後で	契約関係書類を基に、不明点や疑問について丁寧に説明し、納得を得ている。家族からは、退去に関する不安が多く出され、終末期も含めじっくり話しを聞いている。見学はいつでも受け入れ、相談にも応じている。	
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にアンケートボックスをもうけ意見を頂きたいと設置しておりますがなかなか頂けないのが現状です。	行事の折やイベント時に家族の意向を聞くようにしているが、参加者も少なく特に出ない。普段の来訪時にも、個別に時間を設け話しをするようにしているが、個々の相談内容となっている。何等かの検討が必要と考えている。	
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	2か月に1回の職員会議において意見を出してもらったり、個人面談で個人の考えを聴かせてもらったりしています。	全体会議では、毎回積極的な意見交換が行われており、意見がしやすい雰囲気ともなっている。利用者主体の参加型のイベントを企画したり、実行委員会を立ち上げ行事を企画するなど、職員からの意見を反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	3か月に1度の自己評価をしてもらい2次評価と照合のうえ賞与手当等に反映している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症に関する研修はもちろん業務に関連する研修はなるべく受講してもらっています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修を通じての交流が多くその時に意見交換等をしてネットワークづくりをしているようです		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15			○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	困っていること、不安なこと等は家族様に相談対応し、要望も施設として出来る範囲内で応じさせていただいています		
16			○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に本人様、家族様に要望、不安な事などをお聞きしてそれをふまえた上でのサービス計画を作成するようにしています		
17			○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の面談等で困りごと配慮してほしい事などをお聞きしケアマニュアルにあげさせていただきます		
18			○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	事業者の理念のごとく生活を共にする人と言った信頼関係を築けるケアサービスを心がけてもらっております		
19			○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様とは相談を密にし共に支えさせていただいているという関係を築かせて頂いております		
20	(11)		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来ていただいた帰り利用者様が喜んでおられる様子をお伝えし是非またお越しいただきたいことをお伝えさせていただいております	フェイスシートを参考に、その人のこれまでの生活を把握し、支援に繋げている。元職場の同僚が訪ねてきたり、家族が連れてくることもある。週末、自宅に帰省する人もいる。地元の作品展を見に行った際に、知人に会い、話しが弾むこともある。家族の協力は大きい。	
21			○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立はもちろんトラブルを早く察知し回避に努めております		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22			○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所され他施設へ行かれた際時期を見計らって面会に行かせていただき経過をフォローあわせていただいております		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(12)		○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限り希望、意向に沿えるよう努力しているが困難なことのほうが多い	利用者との日々の関わりを通じて聞くことが多い。発語が困難な場合は、表情の変化から汲み取ったり、アイコンタクトにより意向を確認している。日常の利用者についての情報収集を参考に、会議等で共有を図っている。	
24			○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	努めております		
25			○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めております		
26	(13)		○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	穏やかに暮らして頂く為に各関係者方に相談したりアイデアをいただいたりしてケアマニュアルを作成しています	毎月の会議等で利用者の状況を話し合い、それを基に3ヶ月毎にモニタリングをしている。基本は半年毎としているが、必要に応じて随時計画を見直し、ケアマネが作成している。専門医からの助言を参考にすることもあり、家族の意向も反映させている。	
27			○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を職員間で共有し利用者様のケアの見直し等に活かしております		
28			○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存のサービスに捉われない多種多様な意見を出し合い実践しております		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29			○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人様の残存機能を十分に発揮して頂きながら安全で安心できる生活の支援をさせていただきます		
30	(14)		○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族様の気持ちを大切にし意向に応じたかかりつけ医に受診して頂いています	協力病院の受診には職員が付き添い、それ以外は家族に依頼している。歯科治療では、全利用者が協力歯科医院を受診している。現在、協力医療機関は往診に対応していないが、適切な医療が受けられるように支援している。	
31			○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の状態をしっかりと観察し気になる症状があれば家族様に相談し様子をみたり時には受診したりして頂いています		
32	(15)		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際病院には面会訪問したり電話で情報を得たりと状態の把握に努めております	今年度、入院した利用者は一人だけであった。救急の場合は、直ぐ近くの県外の病院へ搬送されるが、夜間でも管理者が付き添い、病院到着後に家族へ引き継いでいる。県外の病院であっても、相談員と密な関係を築いている。	
33	(16)		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期に備えて当施設で出来るケアをお伝えし次の施設の申し込みを行って頂いております	事業所での看取りは行っていない事を契約時に説明して了承を得ている。契約時に、延命処置に関する意思確認書を貰い、状況に応じて更新している。終末期が近づいた場合、入院が必要となるタイミングについては、カンファレンスで見極め、利用者、家族の不安をなくすよう配慮している。	
34			○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急処置方を訓練し急変時に備えております		
35	(17)		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	色々な災害に備えて職員の訓練の実施と共に地域の方々の協力もおねがいしております	事業所は2階建であり、火事を想定して移動が困難な利用者には1階の居室を割り当てている。消防署立会いの下に実施した夜間想定避難訓練では、職員も利用者も予想以上に慌てたという反省を持った。地区消防団が有るが、具体的な協力には至っていない。	災害の発生時には地区住民の協力も必要となるので、地区消防団への協力依頼をされたらどうだろうか。

自己	者 第三	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	かしこまった言葉づかいは避けご利用者様が心地の良い言葉かけをこころがけております	職員は、家族が来訪した際に不快を感じない様な言葉遣いを、日頃から実践ように心がけている。トイレを使用中に、点灯も施錠もしない利用者があり、利用者間でのトラブルが何度か発生したことがあった。	トイレを使用中のプライバシー確保の工夫を職員間で検討していただきたい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望は可能な限り沿わせて頂くようにしております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	可能な限り希望に沿った支援をするよう心がけております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	おしゃれや身だしなみについては御本人様にお任せしております		
40	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらは配膳片づけ等出来る方にはして頂いてます	三食とも職員が献立を考え調理を行っている。事業所の畑で利用者と一緒に作った野菜が、食卓に季節の彩りを添えることもある。職員は味見をする程度の検食のみで、利用者と同じテーブルで食事をするが、持参した物を食べている。	利用者と一緒と同じ献立を食べる事は、食事を楽しむ雰囲気を盛り上げ、より楽しい食事となるのではないだろうか。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量栄養バランスはもちろん高齢者は口の渇きを感じにくいとのことで水分不足には注意を払っております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の状態に応じた口腔ケアをしております		

自己	者三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の自立していた人が徐々に介助が必要になるばかりで自立に向けた支援がなかなかできておりません	使い慣れたポータブルトイレを居室内に持ち込んだりして、自立出来る様に支援している。下肢の力が衰えるにしたがって自立度が下がる傾向があり、付き添って散歩に出掛けたり、一緒に腰掛体操をする事によって、下肢が衰えないように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘に対しての飲食物を配慮したりはしますが後の影響を考え状態によって薬剤に頼る事が多いです		
45	(21)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	皆様に公平に入浴して頂くためにある程度の曜日時間はきめております。そのうえで身体の状態に応じて入浴の順番にもはいいよさせていただきます	浴室は1階、2階とも源泉掛け流しの温泉である。15時までという時間制限は有るが、希望者は毎日でも入浴できる。1階の浴室は2～3人が余裕を持って入れる広さがあり、利用者が誘い合って温泉を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活リズムに応じて安心して休んで頂くよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬でも症状に応じて気になるようなことがあれば医師に相談し調整を頂いてます		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の楽しみ嗜好品を取り入れ日々の生活を楽しんで頂くように支援しています		
49	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員で対応できない場所は家族に相談してなるべく本人の希望に沿った外出を支援させていただいております	日常的な外出先として、近くの足湯や公園へ出掛けて外気欲を楽しんでいる。歩行器を使っている利用者の場合、外出時には車椅子を使い、車で外出する際には職員が移乗の補助をするなど、できるだけ外に出る機会を設けている。	

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50			○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は個々の状態に応じて所持して頂いております		
51			○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はもちろんですがなるべく手紙を家族に書いて頂くよう促しています		
52	(23)		○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間を季節が感じられやすいよう装飾品や展示物を飾らせて頂いております	リビングは、言葉の体操や早口言葉を楽しむ場にもなっている。食事が終わった後もリビングに残って、皆でニュースを見ながらくつろいでいる。季節感を出す工夫として、花を飾ったり、迎春には神棚にお鏡を供え、各居室のドアの上にしめ縄を飾ったりしている。	
53			○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	施設が狭くなかなか思い思いに過ごせる空間が無いのが現状です		
54	(24)		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の時に使い慣れたもの、馴染みの物をお持ちいただきご利用様が少しでも違和感なく過ごして頂けるように配慮させて頂いております	居室内は事業所が準備したベッドと、利用者馴染みの整理ダンス、テレビ、ラジカセ、家族の写真等が置かれ、簡素な中にも自室としての落ち着いた雰囲気を出している。	
55			○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	第一に安全に配慮しそのうえで自立した生活をして頂くよう、できることはして頂き出来ない事分からない事をサポートさせて頂いております		